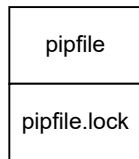


自分で環境を設定する場合

Folder

venv

`pipenv install "packages"`



venv created
packages installed in
venv

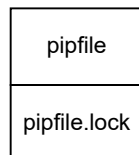
pipfileとpipfile.lock
に情報がかけれる

pipenvの環境に入ってpipenv内に
installされたpackageを用いるとき

`pipenv shell`

`pipenv run command`で仮想環境内でコマンドを打てる。
`pipenv run python3 -m test.py`みたいな感じ

他人のpipfileとpipfile.lockをもらって環境を再現するとき
`python3.8 -m pip install pipenv`
`python3.8 -m pipenv sync`
`python3.8 -m pipenv install -e .`



create venv
and install packages in
venv which are same
version with

☆`sync`を使うことでpipfile.lockにある情報を複製した環境を作成できる。`install`を使うと、
pipfileに書いてあるパッケージの最新版をinstallするから微妙に複製とは異なってしまう

`install -e .` とは、`current directly`のlibrary 構造になっているものを自作packageと
してinstallして、該当の仮想環境にinstallする作業をいう。こうすることで内部の関
数をどこからでも呼び出せる。`-e` means `editable`で編集可能。ソースコードのまま
libraryとして保存され、ソースコードの編集が反映される